

1 与野公園 (中央区)

春と秋、年2回の
バラのシーズンに是非!



開園は明治10年(1877年)。約5万1,000平方メートルの園内には、200種類、3,000株を植えたバラ園があります。毎年5月中旬には、「ばらまつり」を開催しています。また、桜の名所としても有名で、ソメイヨシノが約300本植えてあります。

ばらまつり2023

日時: 5月20日(土)・21日(日) 9:00~17:00 詳細は、22ページへ。

所在地: 中央区本町西1丁目1468-2 駐車場: 約28台

※バラが見頃の時期は駐車場が大変混雑するため、公共交通機関をご利用ください。

交通: JR埼京線 与野本町駅から徒歩約15分

問合せ: 別所沼公園管理事務所 ☎ 711・2290 ☎ 836・5200

2 岩槻城址公園 (岩槻区)

散策路から見る
スイレンは絶景!



岩槻城の土塁が現存する、自然林が多い公園。桜の名所でもあり、その植栽本数は約600本に及びます。春には「流しびな」や「桜まつり」が、秋には「人形供養祭」が開催されます。菖蒲池には朱塗りの八ツ橋がかけられ、花々とともに公園に彩りを添えています。

所在地: 岩槻区太田3丁目1-1 駐車場: 約300台

交通: 東武アーバンパークライン 岩槻駅から徒歩約20分

問合せ: 岩槻城址公園管理事務所 ☎ 757・9122 ☎ 878・8310

花と緑をたのしもう

さいたま市には、自然が多くあります。
歴史ある観光スポットから、散歩スポットまで、
四季折々の自然に触れてみませんか。



他にも

さいたま公園ナビで探す

市内の公園や、関連する講座・イベント情報を検索できます。



詳しくは、(公財)市公園緑地協会へ。

TEL 836・5678

FAX 836・5200



市公式 Instagram で探す

日々、市内の魅力的なスポットやイベント情報などを発信しています。



@saitamacity_official



詳しくは、広報課へ。

TEL 829・1039

FAX 829・1018

さいたま緑の散歩みちマップで探す

10区の散歩みちをマップにして紹介しています。各マップはホームページからダウンロードできます。

詳しくは、都市公園課へ。

TEL 829・1420

FAX 829・1979



3 大宮花の丘農林公苑 (西区)

いつ訪れても四季折々の花が楽しい!



目玉は、ピオラや桜、チューリップ、ポピー、サルビア、コスモスなど四季折々の花が見られる花畑です。苑内にある「花の食品館」では、近隣の畑で収穫した農産物や花を販売しています。「緑のふるさとセンター」では、味噌の加工体験などができます。

所在地: 西区西新井124 駐車場: 約250台

交通: JR高崎線 宮原駅西口から徒歩約40分

JR高崎線 上尾駅西口から上尾市内循環バスぐるっとくん「大谷循環(戸崎先回り又は日産先回り)」で乗車約25分「花の丘公苑」下車すぐ

大宮駅西口から東武バス「平方」行きで「清河寺」下車徒歩約20分

問合せ: 大宮花の丘農林公苑管理事務所 TEL 622・5781 FAX 625・5455

4 花と緑の散歩道 (南区)

アジサイがとてもきれい!



別所沼公園と武蔵浦和駅を結ぶ全長約2kmの散歩道。春には桜、梅雨時にはアジサイ、秋には紅葉が楽しめます。散歩道は歩行者優先で整備されており、安心して散策できます。

所在地: 南区别所周辺 駐車場: なし

交通: JR武蔵浦和駅から徒歩約1分、JR埼京線 中浦和駅から徒歩約5分

問合せ: 別所沼公園管理事務所 TEL 711・2290 FAX 836・5200

花いっぱい運動で 花のあふれるまちを目指しています

本市では、多くのボランティア団体に、駅前や公園、公民館などの公共施設にある花壇を手入れしていただいています。
これらの花壇は、道行く人たちの心を和ませています。

市民花壇の維持管理

春と秋の年2回、駅前や公園などにある花壇の植え替えを行っています。また、水やりや除草など日ごろの維持管理を行い、まちの景観向上に取り組んでいます。

緑化啓発イベントの開催

毎年、5月3日・4日に、市民の森・見沼グリーンセンター（北区見沼）で開催しています。花づくりなどの講習会や子どもたちが楽しめる催しなどを行い、市民の皆さんが花や緑に親しむ機会となっています。

ワークショップの開催



本市では、花や緑にまつわる観光資源をつないで、魅力的な体験や交流を創出する「ガーデンツーリズム」の検討を進めています。2022年度には花いっぱい運動推進会の会員や埼玉大学の学生が参加するワークショップを開催。3グループに分かれて意見交換しながら、市が目指すべきガーデンツーリズムの実現に向けて、アイデアなどを共有しました。



参加者の声

さいたま市花いっぱい運動推進会

副会長 引間 成子さん



大学生とのワークショップでは、普段はなかなか接する機会のない若い方の意見を聞けたことが良かったです。彼らの意見には花や緑を通じてかなえたい夢や希望があり、刺激になりました。私が所属する花いっぱい運動推進会西区支部では、曜日を決めて、花苗の植え替えや水やりなどを行っています。若い人にもぜひ参加してもらえよう、呼び掛けていきたいです。

加入するボランティア団体を随時募集中！

自治会の会員同士の交流を深めるため花壇での活動を行いたい、花が好きな仲間と花と緑のまちづくりに関わりたいなど、花いっぱい運動に興味のある方は、みどり推進課にご相談ください。なお、加入には2人以上で結成した団体などの条件があります。加入の条件や各区の活動などの詳細は、市ホームページをご覧ください。

さいたま市 花いっぱい運動



まちなかの花と緑がもたらす効果

緑や自然環境が持つ多様な機能をまちづくりに生かす

「グリーンインフラ」の考え方をご存じですか。

私たちが日常的にふれあう花や緑には、さまざまな機能があります。

守る



緑は、CO₂を吸収するなど環境対策につながることはもちろん、気候変動に伴う風水害に対しては、雨水を土の中に浸透させることで豪雨災害を軽減したり、地震や火災発生時には避難場所として機能するなど、災害から、都市と人々を守る役割があります。

憩う



都市部に緑があることで、自然豊かなゆとりある環境で健康に暮らすことのできる生活空間の形成につながります。また、子育てや健康づくり、レクリエーション、地域活動など、日々の生活に憩いを提供する役割があります。

緑の役割

呼び込む



歴史文化を感じさせる社寺や植木などの緑は、まちの個性を表現し、居心地の良い魅力的な都市空間を形成するとともに、人材や企業を呼び込む役割があります。

つなぐ



公園や花壇づくりなどの地域にある緑を通じて、様々な人々が交流する機会が生まれます。また、地域のコミュニティを育むなど、人々をつなぐ役割もあります。

市民連携も全国で評価され活発!

今月の表紙

身近な花と緑を大切に
楽しもう



さいたま新都心 花・緑プロジェクト



さいたま新都心地区の地元の企業や市民などで構成する「さいたま新都心まちづくり推進協議会」が主体となり、さいたま新都心駅周辺にある歩行者デッキや駅の自由通路などで緑化空間の整備と管理をしています。プランターや鉢植えを設置して、まちの景観形成やにぎわいの創出を図っています。

OMIYA STREET PLANTS PROJECT



提供：UDCO

大宮駅周辺では、歩道部のパブリックスペースに植栽を設置し、賑わいや居心地の良い空間を創出する大宮ストリートプランツプロジェクトを展開しています。今後も、金融機関やまちづくり会社などで構成する「大宮駅周辺グリーンインフラ公民連携プラットフォーム」と連携して、みどりとともにある大宮の豊かなライフスタイルの実現を目指していきます。

第2回
グリーンインフラ大賞
国土交通大臣賞受賞